

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	沖縄市	代表者名	桑江朝千夫
担当者部署	企画部 DX戦略室 DX推進課	連絡先電話番号	0989391212
担当者役職	主査	担当者氏名	兼次能矢
住所	904-8501 沖縄県沖縄市仲宗根町26-1		

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	1日目は下山様をご用意された「自治体DXアセスメントシート」に沿って、弊市の課題や目標を1つ1つ丁寧に確認し、適宜課題解決に寄与する技術的手法や先進地事例をご紹介いただきました。 特にオープンデータの面について、本制度を利用しておりますところ、オープンデータ推進のチェックシート、オープンデータに求められる5スターの細かい説明、市カタログサイトとCKANのカタログサイトとの使い方やデータ分類、APIを使った自動化といった手法をご教示くださり、勉強となりました。また、傾聴する姿勢もとてもよく、最後まで私たちの話を聞いてもらえたという信頼感がありました。
アドバイザーへの要望事項	次回はスキルセットの習得を教わります。その際も、1回目同様に丁寧に教えて頂ければ嬉しいです。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年12月20日	支援・助言(実地)	有	令和5年10月25日	304K
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年12月20日	支援・助言（実地）	9時00分	16時30分	60
				活動時間（分）	390
3-2. 派遣場所	会場名	沖縄市役所	最寄駅	胡屋バス停	
	所在地	沖縄市仲宗根町26-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	--------------------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	EBPM及びデータの活用を通じてデジタル人材の育成等を行うにあたり、その基盤となるBIツールの導入および活用を推進する事業をデジタル田園都市国家構想交付金を活用して導入する部分と、EBPM、データ活用を行っていく上での分析手法や分析の視点などを導入したいと考察している。しかしながら上記のノウハウがないため、専門家にアドバイスをいただき、効果的な手法や効率的な導入、ネットワーク上の課題などをクリアにして導入に進めたい。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・オープンデータの普及促進に際し、庁内からデータを収集していくための全体的な仕掛け方 ・データ利活用において、データの可視化ツールを用いたデータの可視化と、現状分析・課題把握を行う上で効果的なダッシュボードの内製技術（作り手側の視点） ・作成されたダッシュボードを見て、現状分析や課題把握を行い、それを政策決定へと繋げるためのダッシュボードを見る技術（見る側の視点） ・デジタル田園都市国家構想交付金を活用するに際し、申請に向けたKPIの定めや取組方針等、申請内容の精査と申請書の作成	

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル庁が公開するオープンデータ推進のチェックシートの教示とその使用方法</li> <li>下山様が作成した、データ活用推進を行う上での組織的取組みのチェックシートの教示と使用方法</li> <li>自治体標準オープンデータセットの一覧と、かかるCSVファイルの内、「オープンデータ一覧」の部分の作成方法や、画像ファイルを項目に含める等、作成時の留意事項の教授</li> <li>その他ユニバーサルメニューの存在と説明、市HPでアップロードしたODをCKAN上でもアップロードする際の、APIを活用した自動化の勧めの教授</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル庁のチェックシートを元に、具体的な進め方に沿って組織的に変革できることを学びました。優先順位や何に手をつけたら良いかが明示されているので、今後の取組時に重宝します。</li> <li>ユニバーサルメニューに沿ったオープンデータのカテゴライズを意識するようにします。特に、今後オープンデータをあらゆる方に広く使ってもらうために、市のみならずCKANプラットフォームへもユニバーサルメニューに沿って、積極的にオープンデータを公開していくという意識に変わりました。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> <li>BIツールの操作研修、作り手側・見る側におけるダッシュボード活用の技法は次回ご教授いただきます。</li> </ul>	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>アンケート実施なし。 課内職員4名のみの事業支援であり、満足度や意識が変わった等のアンケート項目は本報告書の項目で充足できると考えため。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>BIツールのスキルセットの獲得</li> <li>オープンデータをより収集しやすい公開しやすいデジタル基盤を通した環境づくり</li> </ul>	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

